

令和5年第3回定例会会期日程

1 会 期 21日間（9月5日～9月25日）

2 議事日程

9月 5日（火） 開 会 提出議案（報第14号ないし報第16号を除く、説明）
ただし、報第14号ないし報第16号（報告、質疑）
第62号議案及び第63号議案（質疑、表決）
赤穂市選挙管理委員及び補充員の選挙について

6日（水） }
7日（木） } 議案熟読のため休会

8日（金） 再 開 提出議案（質疑、委員会付託）

9日（土）

10日（日）

11日（月） 民生生活委員会

12日（火） 建設水道委員会

13日（水） 総務文教委員会

14日（木）

15日（金）

16日（土）

17日（日）

18日（月）

19日（火）

20日（水）

21日（木） 再 開 一般質問

22日（金） 一般質問 付託議案（委員長報告、質疑、討論、表決）
協議会

23日（土）

24日（日）

25日（月） 予備日

} 休 会

令和5年第3回赤穂市議会定例会提出議案一覧表

- 報第14号 健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
- 報第15号 令和4年度公益財団法人赤穂市文化とみどり財団の経営状況の報告について
- 報第16号 令和4年度赤穂駅周辺整備株式会社の経営状況の報告について
(報第15号及び報第16号は別冊)
- 認第1号 令和4年度赤穂市一般会計歳入歳出決算認定について
- 認第2号 令和4年度赤穂市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 認第3号 令和4年度赤穂市職員退職手当管理特別会計歳入歳出決算認定について
- 認第4号 令和4年度赤穂市墓地公園整備事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 認第5号 令和4年度赤穂市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 認第6号 令和4年度赤穂市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 認第7号 令和4年度赤穂市病院事業会計決算認定について
- 認第8号 令和4年度赤穂市介護老人保健施設事業会計決算認定について
- 認第9号 令和4年度赤穂市水道事業会計決算認定について
- 認第10号 令和4年度赤穂市下水道事業会計決算認定について
(認第1号～認第10号は別冊)
- 第58号議案 令和5年度赤穂市一般会計補正予算
- 第59号議案 令和5年度赤穂市国民健康保険事業特別会計補正予算
- 第60号議案 令和5年度赤穂市介護保険特別会計補正予算
(第58号議案～第60号議案は別冊「令和5年9月赤穂市各会計補正予算」)
- 第61号議案 赤穂市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第62号議案 赤穂市監査委員の選任について
- 第63号議案 赤穂市教育委員会委員の任命について

《令和4年度赤穂市一般会計決算の概要について》

赤穂市の令和4年度一般会計決算は、歳入が24,532,535千円で前年度比2.1%の減、歳出が23,904,478千円で前年度比1.6%の減となった。歳入から歳出を単純に差し引いた形式収支は628,057千円となり、この形式収支から翌年度への繰越財源34,767千円を差し引いた実質収支は593,290千円となった。また、単年度収支に財政調整基金への積立金及び地方債の繰上償還金を加え、財政調整基金の取崩額を差し引いた実質単年度収支は566,311千円で、3年連続の黒字となった。なお、大規模改造事業など18件、事業費596,700千円について、翌年度へ繰越すこととなった。

歳入については、市債管理基金、赤穂ふるさとづくり基金の活用により繰入金が増加する一方で、借換債の発行に伴う市債の大幅な減少に加え、子育て世帯臨時特別給付事業補助金の減など国庫支出金が減少したことから、歳入総額は521,743千円の減（△2.1%）となった。

歳出については、財政調整基金積立金や赤穂ふるさとづくり基金積立金が増加したものの、借換債の償還に伴う公債費の大幅な減や、子育て世帯臨時特別給付事業の減により、歳出総額は377,665千円の減（△1.6%）となった。

財政の弾力性を示す経常収支比率は、歳入において市税や普通交付税等の一般財源が増加したものの、歳出において人件費や物件費、公債費等の経常経費が増加したことから、前年度比0.2ポイント増の79.6%（臨時財政対策債を除く）となった。

市の借金にあたる市債残高は、臨時財政対策債の発行額が303,952千円と大幅に減少したほか、市債管理基金を活用した繰上償還を行ったため、全体で前年度比1,578,245千円の減（△5.4%）となった。臨時財政対策債を除く通常債の残高は、1,050,073千円の減（△5.6%）となった。また、貯金にあたる基金残高は、財政調整基金において717,515千円、赤穂ふるさとづくり基金において515,389千円を積立てたことなどにより、基金総額（有価証券及び貸付金を除く）は513,261千円の増（+13.6%）と3年連続の増加となった。

財政健全化判断比率について、実質公債費比率は、決算年度を含む3ヵ年平均で9.9%と前年度から0.2ポイント増加しており、単年度比較では、小中学校の空調設備整備事業に係る元金償還の開始など元利償還金が増加したことや、公営企業債の償還財源となる繰出金が増加したことなどにより、10.4%と前年度から0.7ポイント増加した。また、将来負担比率は、標準財政規模が縮小したほか、交付税措置を伴う地方債残高の減少などから基準財政需要額算入見込額が減少したものの、地方債残高や病院事業会計、下水道事業会計等の公営企業債等繰入見込額が減少したことにより、80.1%と前年度から△12.7ポイント改善した。

【決算状況(対前年度比較)】

(単位 円：%)

項目	4年度	3年度	差引	増減率
歳入	24,532,535,213	25,054,277,826	△521,742,613	△2.1
歳出	23,904,478,490	24,282,143,069	△377,664,579	△1.6
歳入歳出差引額	628,056,723	772,134,757	△144,078,034	△18.7
繰越額	34,766,241	40,640,515	△5,874,274	△14.5
実質収支	593,290,482	731,494,242	※ △138,203,760	△18.9

※ 単年度収支

【主な増減要因】

〈歳入〉	市	税	+274,111 千円	市民税の増、固定資産税の増
	国庫	支出金	△665,180 千円	新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金の減、子育て世帯臨時特別給付事業補助金の減
	県	支出金	+310,917 千円	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業補助金の増、経営体育成支援事業補助金の減
	繰入	金	+545,225 千円	赤穂ふるさとづくり基金繰入金の増、市債管理基金繰入金の増
	繰越	金	+388,788 千円	前年度繰越金の増
	市	債	△1,671,163 千円	借換債の減、臨時財政対策債の減
〈歳出〉	総	務費	+722,918 千円	基金積立金の増、過年度市税等過誤納金還付金の増
	民生	費	△581,175 千円	住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業の減、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業の増、子育て世帯臨時特別給付事業の減
	農林水産	業費	+291,129 千円	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業の増、経営体育成支援事業の減
	教育	費	+234,835 千円	学校園施設整備事業の増、図書館整備事業の増、体育施設整備事業の増
	公債	費	△701,652 千円	借換債償還金の減、市債繰上償還金の増

【市債及び基金の年度末残高推移】

(単位 千円：%)

項目	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
市債	30,183,207	30,395,595	30,010,545	29,413,822	27,835,577
増減率	△0.8	0.7	△1.3	△2.0	△5.4
基金	3,550,950	2,834,632	3,176,897	3,763,648	4,276,909
増減率	△16.6	△20.2	12.1	18.5	13.6

(注) 基金残高は現金に係るものであり、有価証券及び貸付金を除く。

I 一般会計決算

1 決算規模

歳入において、市債管理基金、赤穂ふるさとづくり基金の活用により繰入金が増加する一方で、借換債の発行に伴う市債の大幅な減少に加え、子育て世帯臨時特別給付事業補助金の減など国庫支出金が減少したことから、歳入総額は5億2,174万円（対前年度比△2.1%）の減となった。

一方歳出は、財政調整基金積立金や赤穂ふるさとづくり基金積立金が増加したものの、借換債の償還に伴う公債費の大幅な減や、子育て世帯臨時特別給付事業の減により、歳出総額は3億7,766万円（対前年度比△1.6%）の減となった。

歳入:245億3,254万円(△5億2,174万円、△2.1%)

歳出:239億 448万円(△3億7,766万円、△1.6%)

2 決算収支

(1)実質収支 593百万円の黒字

(2)実質単年度収支 566百万円の黒字

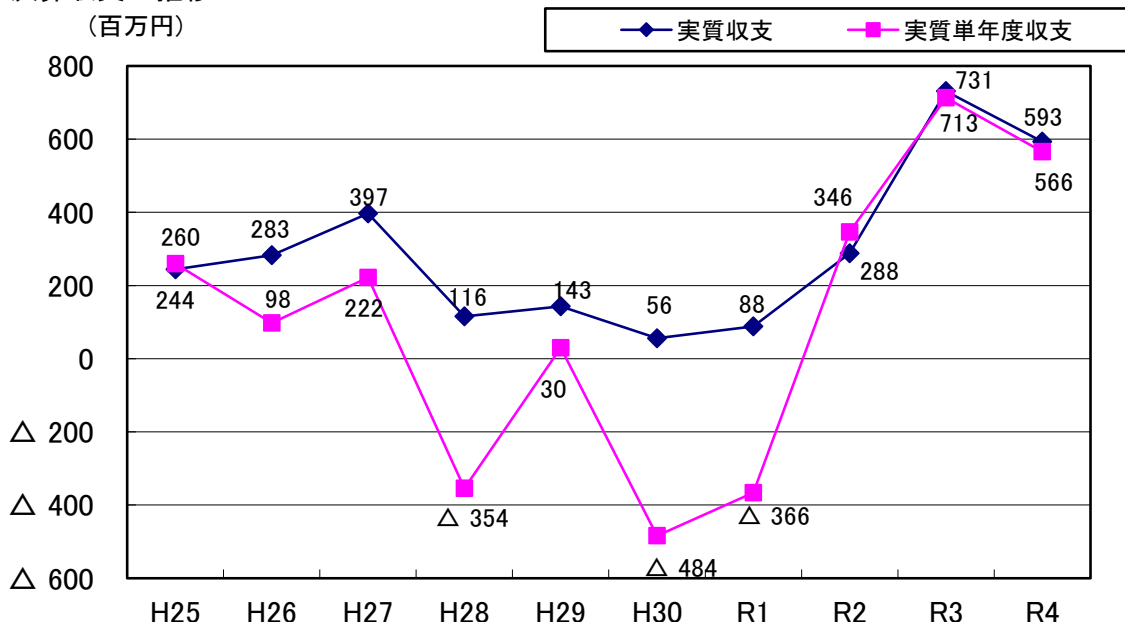
決算収支の状況

(単位:千円、%)

区分	4年度	3年度	差引	増減率
歳入総額 A	24,532,535	25,054,278	△ 521,743	△ 2.1
歳出総額 B	23,904,478	24,282,143	△ 377,665	△ 1.6
形式収支 C = (A - B)	628,057	772,135	△ 144,078	△ 18.7
翌年度繰越財源 D	34,767	40,641	△ 5,874	△ 14.5
実質収支 E = (C - D)	593,290	731,494	△ 138,204	△ 18.9
単年度収支 F	△ 138,204	443,946	△ 582,150	△ 131.1
財政調整基金積立金 G	351,515	268,577	82,938	30.9
地方債繰上償還金 H	353,000	0	353,000	皆増
財政調整基金取崩し額 I	0	0	0	—
実質単年度収支 (F+G+H-I)	566,311	712,523	△ 146,212	△ 20.5

決算収支の推移

(百万円)



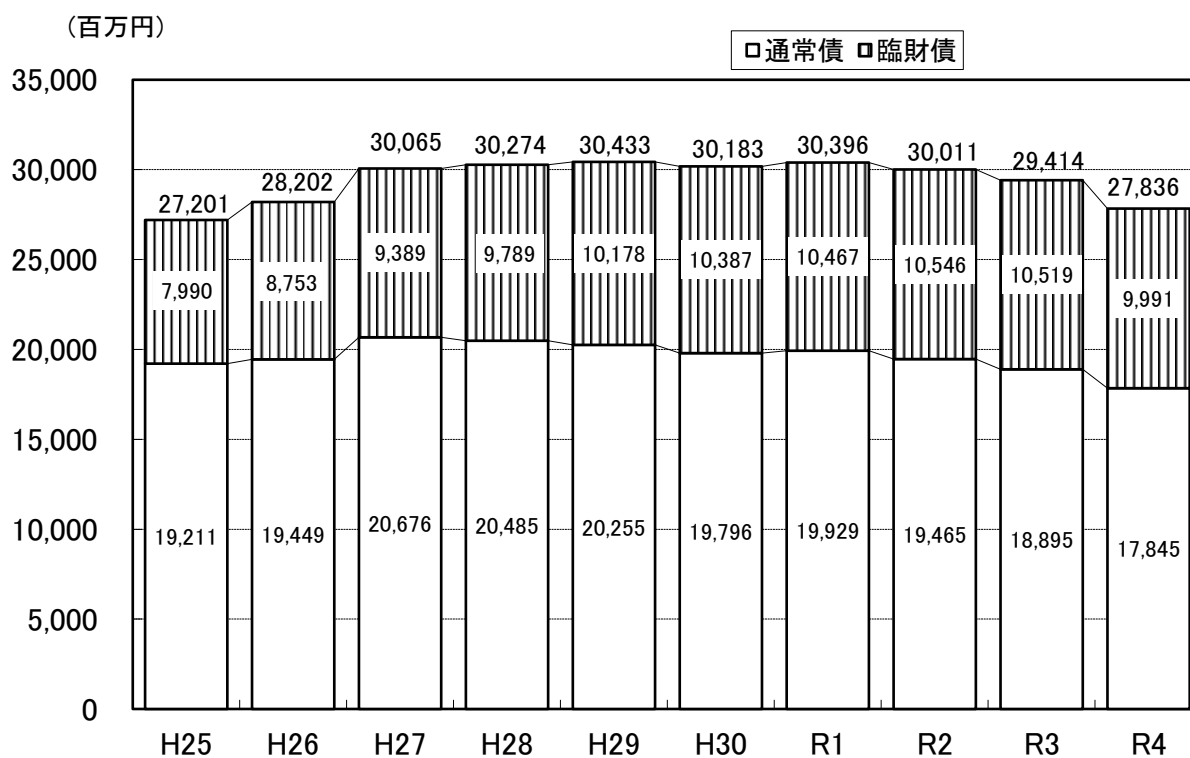
3 市債

臨時財政対策債の発行額が3億395万円と大幅に減少したほか、市債管理基金を活用した繰上償還を行ったため、市債全体の残高は、前年度比△5.4%、15億7,825万円減の278億3,558万円となった。臨時財政対策債を除く通常債の残高は、前年度比△5.6%、10億5,007万円減の178億4,454万円となった。

市債残高の状況

(単位:千円、%)

区分	4年度	3年度	差引	増減率
市債発行額 A	1,614,452	3,285,615	△ 1,671,163	△ 50.9
うち借換債 B	349,800	1,455,000	△ 1,105,200	△ 76.0
差引 C = (A - B)	1,264,652	1,830,615	△ 565,963	△ 30.9
元金償還額 D	3,192,697	3,882,338	△ 689,641	△ 17.8
うち借換債 B	349,800	1,455,000	△ 1,105,200	△ 76.0
差引 E = (D - B)	2,842,897	2,427,338	415,559	17.1
年度末残高	27,835,577	29,413,822	△ 1,578,245	△ 5.4
うち臨財債	9,991,036	10,519,209	△ 528,173	△ 5.0
うち通常債	17,844,541	18,894,613	△ 1,050,072	△ 5.6



4 基金

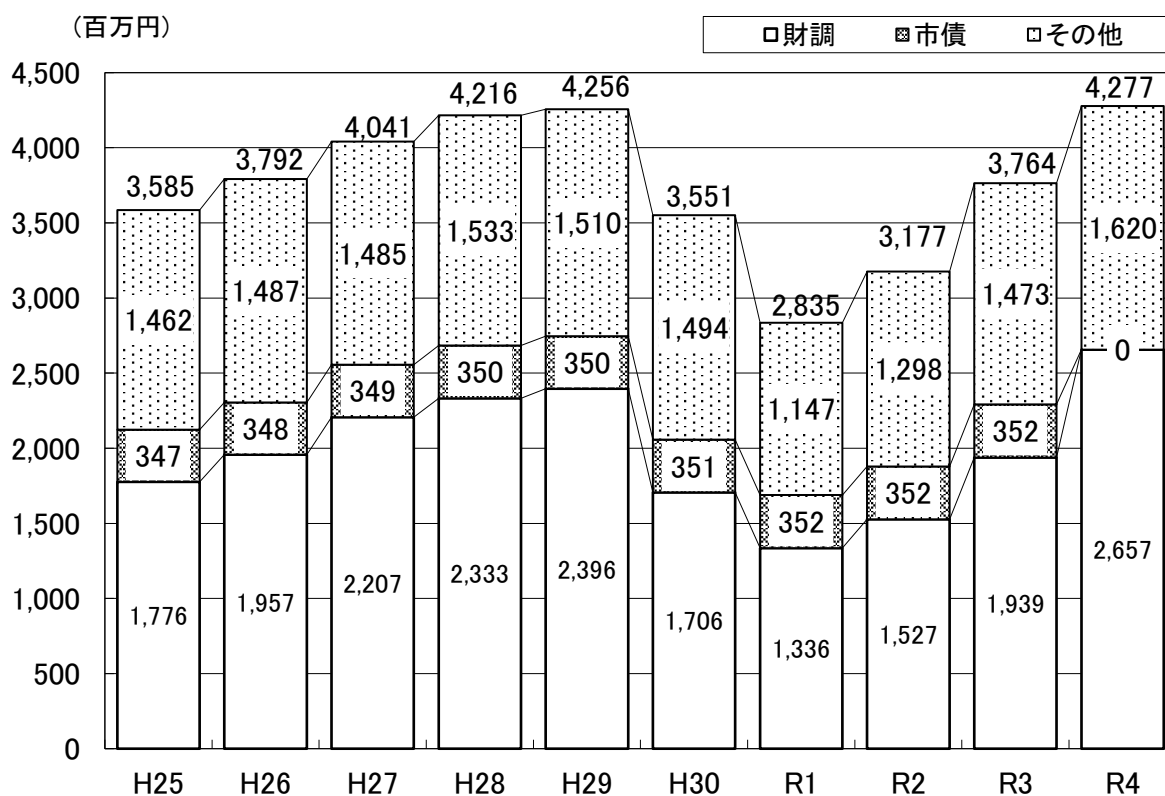
財政調整基金において、前年度決算剰余金として3億6,600万円のほか、最終補正による剰余金3億5,000万円を積立てたことなどにより、財政調整基金残高は7億1,752万円の増となった。また、市債管理基金において、全額を取崩し、第三セクター等改革推進債の繰上償還金に充当したため、3億5,216万円の減となった。

その他特定目的基金残高は、赤穂ふるさとづくり基金への積立てなどにより、1億4,790万円の増となった。

基金残高の状況

(単位:千円、%)

区分	4年度	3年度	差引	増減率
財政調整基金	2,656,973	1,939,458	717,515	37.0
市債管理基金	0	352,155	△ 352,155	△ 100.0
その他特定目的基金	1,619,936	1,472,035	147,901	10.0
計	4,276,909	3,763,648	513,261	13.6



II 財政健全化判断比率

1 実質公債費比率

比率が決算年度を含む3か年の平均で算出されることから、単年度比率で元年度の9.9%が4年度の10.4%と入れ替わりとなったことにより、前年度の9.7%から9.9%と0.2ポイント増加した。

また、3年度との単年度比較においては、小中学校の空調設備整備事業に係る元金償還の開始など元利償還金が増加したことや、公営企業債の償還財源となる繰出金が増加したことなどにより、9.7%から10.4%と0.7ポイント増加した。

2 将来負担比率

将来負担額については、地方債残高や病院事業会計、下水道事業会計等において公営企業債等繰入見込額が減少したことなどにより、全体で27億339万円減少した。

充当可能財源等については、財政調整基金や赤穂ふるさとづくり基金などへの積立てによる充当可能基金の増加があったものの、交付税措置を伴う地方債残高の減少などによる基準財政需要額算入見込額の減少などにより、全体で10億513万円減少した。

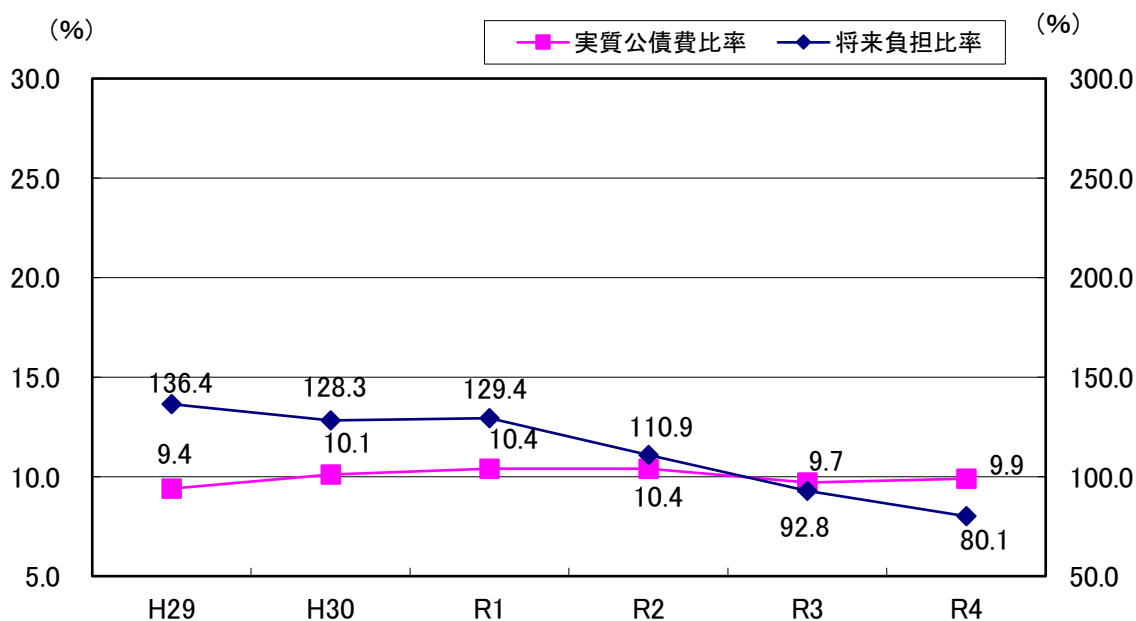
また、標準財政規模については、臨時財政対策債発行可能額の減少などにより、2億9,246万円減少した。

将来負担比率としては、前年度の92.8%から80.1%と12.7ポイント改善した。

比率の状況

(単位: %)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
実質公債費比率	9.4	10.1	10.4	10.4	9.7	9.9
将来負担比率	136.4	128.3	129.4	110.9	92.8	80.1



令和5年度 赤穂市の各会計予算

(単位 千円)

会 計 区 分	現計予算	9月補正予算	計	補 正 額 の 主 な も の
一般会計	23,475,600	495,000	23,970,600	年間執行見込みによる補正
特別会計				
国民健康保険事業	5,109,000	31,700	5,140,700	前年度の精算等による補正
職員退職手当管理	547,600		547,600	
墓地公園整備事業	7,000		7,000	
介護保険	4,807,100	83,511	4,890,611	前年度の精算等による補正
後期高齢者医療保険	839,400		839,400	
小 計	11,310,100	115,211	11,425,311	
企業会計				
病院事業	11,359,324		11,359,324	
介護老人保健施設事業	404,404		404,404	
水道事業	1,904,242		1,904,242	
下水道事業	4,586,555		4,586,555	
小 計	18,254,525		18,254,525	
合 計	53,040,225	610,211	53,650,436	

令和5年度 赤穂市一般会計9月補正予算資料

1 投資的経費

(単位 千円)

番号	事業名	事業費	財源内訳					摘要	款別	
			国庫支出金	県支出金	地方債	寄付金	その他 特定財源			一般財源
1	道路橋梁整備事業	9,000						9,000	落石防止網修繕外	土木費
2	公園施設整備事業									
	城南緑地	—			1,100		△ 1,200	100		
	計	9,000			1,100		△ 1,200	9,100		

2 臨時的経費

(単位 千円)

番号	事業名	事業費	財源内訳					摘要	款別	
			国庫支出金	県支出金	地方債	寄付金	その他 特定財源			一般財源
1	基金積立金									総務費
	財政調整基金	297,000						297,000		
2	コミュニティ助成事業	2,000					2,000			
3	過年度市税等過誤納金還付金	186,280						186,280	市税外	
	計	485,280					2,000	483,280		

3 経常的経費

(単位 千円)

番号	事業名	事業費	財源内訳						摘要	款別
			国庫支出金	県支出金	地方債	寄付金	その他 特定財源	一般財源		
1	特定教育・保育施設給付事業	720		720					物価高騰等対策補助	民生費
	計	720		720						
	合計	495,000		720	1,100		800	492,380		